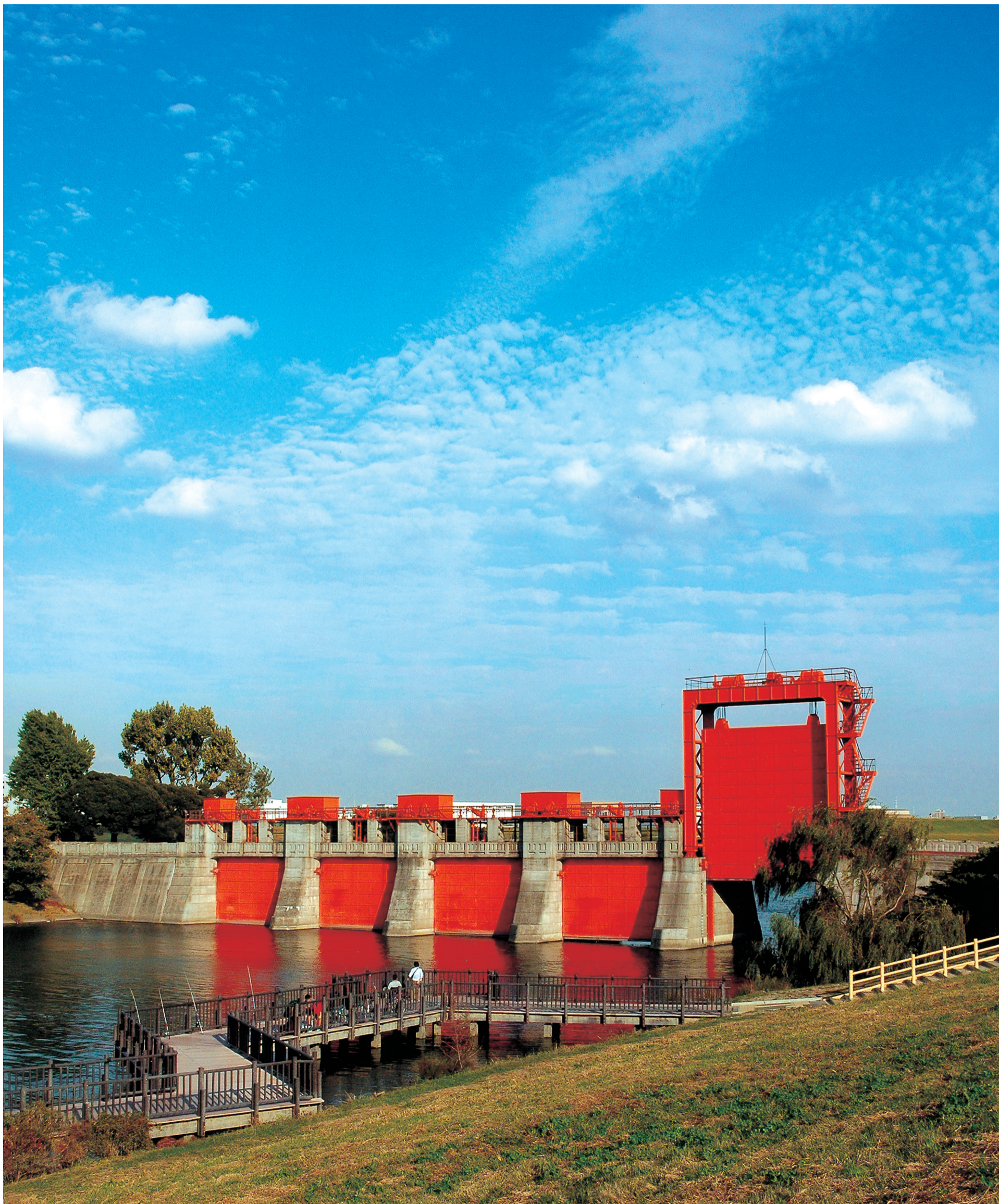




くぎかいだより

NO. 214

発行/北区議会
〒114-8508
東京都北区王子本町1丁目15番22号
TEL(3908)1111(大代表)



平成十九年 第三回定例会

各党派の代表質問

平成十九年第三回定例会は、九月十三日に召集され、三十日間の会期で十月十二日に閉会しました。

九月十三日、十四日の二日間には、十二名の議員が、財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・一般質問を行いました。二頁～四頁は、その質問と答弁の要旨を多数会派順に掲載しています。

今回、区長から提出された議案等二十九件、議員から提出された議案十件、請願・陳情十四件を議決しました。(五頁掲載)

議会のうごき

8月

- 7日 議会運営委員会
- 委員会
- ・本会議の運営についてほか
- 8日 本会議
- 東京都北区副区長選任の同意についてほか
- 企画総務委員会(本会議休憩中)
- 委員会
- ・議案審査
- ・西浮間小学校新築工事請負契約

- 8日 議会運営委員会(本会議休憩中)
- 委員会
- ・本会議の運営について
- 27日 議会運営委員会
- 視察
- ・千代田区議会
- 委員会
- ・視察のまとめ

- 30日 企画総務委員会
- 委員会
- ・委員の派遣について

9月

- 4日 議会運営委員会
- 委員会
- ・本会議の運営についてほか
- 13日 本会議
- 代表質問ほか
- 14日 本会議
- 一般質問、議案の付託ほか
- 19日 区民生活委員会
- 委員会
- ・所管事務調査
- ・東京都北区エコー広場館条例の一部を改正する条例ほか

明日の区政を展望した基本を問う

まち・協働・産業・区の姿・学力

自由民主党議員団

小池たくみ



問 北区都市計画マスタープランの改訂作業に際し、土地利用計画だけでなく空間計画や社会経済活動全体を視野に入れた「賢い成長」政策及び高密度都市としての「コンパクトシティ」の評価を問う。

答 少子高齢化が進展する社会では大変参考になる考え方と認識する。北区の基本姿勢である協働の今後の展開と行政の役割を問う。



浮間ヶ原桜草園場

問 「区民とともに」の施策を引き続き推進していく。行政の役割と守備範囲も大きく変わりつつあり、より区民参画が進む方法で協働を進めることが大切と考える。

答 産業と地域は一体と考えるが、新産業活性化ビジョンにおいてなぜ産業に特化した諮問をしたのか。地域の中で、企業・商店街・産業団体・区民と区等が連携した産業振興策の実施を盛り込んでいく。観光振興や文化と、これらを生かす北区のイメージ戦略を問う。

問 平成二十二年度改定を念頭に置き、より一層、観光・文化振興との連携を深め、新たなイメージ戦略に向けた基盤づくりを進めたい。

答 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果や学力向上検討委員会の報告等の総合的な評価と、今後の教育政策の変化の有無を問う。

問 学力向上に対する取組みは一定の成果を上げている。授業改善等の課題もあり、報告に盛り込まれた支援策の充実に向け、引き続き児童・生徒の学力向上を図っていく。

地域で支えあう高齢者対策を

マンション長期修繕計画の検証を

公明党議員団

上川 晃



問 高齢者に防犯ブザーや住宅火災警報器を配布し、近隣で守りあう仕組みを作ることを提案する。

答 提案の趣旨を十分に踏まえながら、高齢者が安全で安心して暮らすことができるように、さらに全力をあげて取り組んでいく。

問 マンションの実態に見合った長期修繕計画作成や修繕積立金の確保とその検証制度が必要と考える。

問 マンション管理の重要部分と認識し、「分譲マンション管理セミナー」で計画等の講演を行い、十月には大規模修繕と建替準備についての事例研究会を予定している。契約や入札のあり方について、より厳正な法令遵守や要綱整備が喫緊の課題である。入札契約適正化への対応の進捗状況を問う。

答 可能な限り早急な対応を図るべく公共工事等制度検討連絡協議会で具体的な検討に着手している。最近肥満の子どもが増えている



住宅用火災警報器と防犯ブザー

問 「小児メタボリックシンドローム」に対する区の取組みを問う。

答 都と連携して食生活と運動の大切さの啓発、活動への支援を行い、肥満予防の取組みを行っていく。

問 狂犬病は家畜の法定伝染病として予防接種が義務付けられている。接種率の向上及び注射済票の装着を徹底するための取組みを問う。

答 区内二十一会場で定期集合注射を実施し接種率の向上に努めている。犬鑑札及び注射済票もより装着し易いものとなるよう検討する。

医療制度改革の改善を求めて

貧困と格差をなくす雇用対策を

日本共産党北区議員団

山崎たい子



問 高齢者は、老年者控除廃止等で急激な負担増となっている。後期高齢者医療制度の保険料を低く抑えるとともに、低所得者の保険料減免制度をつくることを求める。

答 広域連合では、所得の少ない被保険者に国保と同様な軽減措置の導入を予定している。災害等での重大な損害や著しい収入減少には、減免制度の導入も検討している。



医療機関の窓口

問 医療制度改革により、区民健診が特定健診等にかわり有料化が心配される。区民が引き続き健診を受けられるよう無料健診の継続を。受診者の本人負担の有無、従来の健診との整合等は、今後の国等の動向を見極めながら検討したい。

答 地域の特性を生かした労働施策の展開を期待し、若者への就労支援に対する具体的な取組みを問う。

問 区内での正規就労従事等を目的に若者就職サポートフェスタを企画している。実施後の検証を踏ま

え、より良い機会づくりに努める。

問 区長は、消費税の引き上げを行わないよう国に強く働きかけを。

答 政府税調で消費税を含む税制の抜本的改革議論を開始すると聞く。今後議論や世論の動向を注視する。

問 子ども達の豊かな成長を支える教育への過度の競争原理の導入は、現場に混乱をもたらす。全国学力テストの中止を国に求めるべき。

答 指導方法や学習の改善に生かされるものと受け止め、現段階では、調査の有効活用を念頭に置きたい。

徹底的な行財政改革に向けて

児童虐待防止について

民主区民クラブ

花見 隆



問 区民が安心して暮らせる地域社会を維持し新たな要望に応えるには、一歩踏み込んだ行財政改革が必要不可欠である。区長の見解を。

答 今後も、区民とともに、外部化を基軸とした事務事業の見直し等全庁を挙げて経営改革に取り組む。

問 談合防止を求める区民の声は、非常に厳しい。入札改革に向けて、早急に強化策を講じるべき。

答 指名停止基準の見直しや一般競争入札の拡大等について、今年度中に結論をまとめる予定である。

問 児童虐待防止への取組みを強化するため、生活福祉課と連携し人員拡充を含めた早急な体制整備を。

答 育ち愛ほつと館を先駆型子ども家庭支援センターに移行し、職員一名を増員した。関係各課の連携強化と体制の更なる充実に取り組む。

問 受動喫煙防止のため、公園や駅前等には、喫煙場所を明確に表示し、現状を改善すべき。北とびあ



健康増進センター（体操教室）

等の公共施設には、喫煙ルームを整備し、完全分煙化を推進すべき。

答 路上喫煙に関わる条例の方針が出た段階で、公園等の喫煙場所のあり方を検討する。区立施設では、禁煙・分煙化基準を設け、原則屋内喫煙を禁止している。快適な施設環境形成のため、更に検討する。

問 脳の健康教室の増設や筋力アップ体操教室の定期的な開催等、介護予防施策の拡充を推進すべき。

答 各教室の会場数は、希望者の状況を見て、増設を検討していく。

精神障害者の人々の課題について

入札、契約手続きの改善について

あすか新生議員団

石川 清



問 増加傾向を示している精神障害者の人達への、支援の遅れが現在も課題となっている。就労支援策について、区長の姿勢を問う。

答 意欲や能力に応じて働ける職場環境の整備、地域社会の理解と協力が欠かせない。精神障害者共同作業所が自立支援法に基づく新体系へ移行できるよう協力支援する。小中学校における児童・生徒の



就労支援センター北 わくわくかん

躁うつ病と自殺との関連について、教育委員会の認識と対応を問う。

答 医療機関と連携が必要な子どももいると認識し連携体制を構築している。今後、医療的な支援の必要な子どもへの支援充実に努める。

問 入札、契約手続きの改善を打出したことは評価するが、談合は絶対許さないとの視点で契約案件への具体的な運用と取組みを問う。

答 今後とも、北区の契約制度の更なる改革・改善に邁進したい。

問 入札に向けて指名業者選定委員

会が存在するが、どのような機能を果たしているのか明確に回答を。

答 工事金額の規模や技術的難易度に応じて会社を格付け、さらに工事施工の体制や能力を考慮し、入札参加業者等を決定している。

問 赤羽モンマルトルの名と大野五郎氏の寄贈作品の生かされ方は北区の文化発信のテーマとなる。プロジェクトを立ち上げてはどうか。

答 北区にゆかりのある芸術家の一人として、多くの皆様にご覧いただける機会を作っていきたい。

20日

健康福祉委員会

- ・ 請願・陳情審査
 - ・ 割賦販売法の抜本的改正を求める意見書提出に関する件ほか
 - ・ 委員の派遣について
- ### 文教委員会
- 委員会
 - ・ 所管事務調査
 - ・ 東京都北区立十条台小学校温水プール使用条例の一部を改正する条例ほか
 - ・ 陳情審査
 - ・ 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する件
 - ・ 委員の派遣について

建設委員会

- 説明会
- ・ 王子駅南口の営業時間について
- 委員会
- ・ 議案審査
- ・ 特別区道の路線認定、路線廃止、路線一部廃止及び路線変更について
- ・ 所管事務調査
- ・ 東京都北区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例ほか
- ・ 陳情審査
- ・ 都市計画袋袋町公園の緑地・公園化に関する件ほか
- ・ 委員の派遣について
- ・ 説明会のまとめ

一般質問

十条まちづくり基金について

伝統文化教育・環境政策について



自由民主党
議員団
樫 くにじ

問 JR立体化を視野に入れた十条まちづくりのための準備基金をつくるべき。区長の決意と見解を。

答 事業規模等の見直しを勘案しながら、平成二年に設置したまちづくり基金への積立てを図りたい。

問 教育の土台に日本の伝統文化が大きな意味を持つ。伝統文化教育を正規授業に取り入れるべきでは。

答 関連する教科等で計画的な指導を進め、外部人材の活用や体験的な学習の充実を図る等、日本の伝統文化教育の推進を図っていく。

問 北区は協働の精神で区民とともに環境問題に取り組んできた。環境先進区としてのPR戦略を問う。

答 平成二十二年度に予定する「北区緑の基本計画」改訂にあたっては、地球温暖化防止等、環境を意識した事業を計画化し、環境先進区としてのPR戦略に努めていく。

開かれた教育環境整備について 介護現場・十条まちづくり



自由民主党
議員団
渡辺かつひろ

問 学校教職員の意識改革の現状と学校評議員制度について問う。

答 学校外部からの評価により教職員個々の課題も把握でき、意識改革に結びついている。また、学校評議員制度の周知に努め、個人情報保護に配慮しつつ学校情報の家庭・地域への公開を指導していく。

問 介護保険制度改正後、ヘルパーが急激に減少している。将来の需給バランスを崩しかねない現状についての改善策・将来像を問う。

答 国、都、区がそれぞれの役割を果たし、介護従事者がやりがいと生きがいを持てるような環境を整えていくことが重要と考える。

問 具体的に夢と希望の持てる十条台地区まちづくりの将来像を問う。

答 「にぎわいとやすらぎを奏でるまち十条」を実現することで、魅力あふれるまちになると考える。

問 公費負担の妊婦健診回数拡充を

答 都等に働きかけ五万円の妊婦健診助成金制度をより発展させ、受診券による受診回数的大幅拡充と出産後一カ月健診の追加で、妊婦健診の完全公費負担を強く求める。

問 受診券方式による健診回数増に柔軟に対応できるシステムを検討中。出産後一カ月の産婦健診の公費負担は、今後の検討課題とする。障害者の作品や製品をより多くの方の手に取ってもらえるよう、福祉ショップの設置を望む。



公明党議員団
青木 博子

問 先進的な取組み事例等について調査研究し、実施方法が可能かどうかがあるか検討していく。

問 交通アクセスの一つとして赤羽駅にレンタサイクルを設け荒川河川敷を利用しやすくしてはどうか。

答 荒川河川敷は、北区の魅力的観光スポットと認識し、提案のレンタサイクルについても研究する。

問 浮間地域の諸課題について子育て支援の強化について



公明党議員団
稲垣 浩

問 大幅な人口増が予想される浮間三丁目大型マンションから、新河岸橋までの新河岸川護岸緑道の再整備と街灯設置を、都に強く要望すべきと考えるが見解を問う。

答 多くの通行が見込まれるこの通路を管理する都に対し、再整備とともに街灯設置を要望していく。

問 都立浮間公園の再整備を都に要望するとともに、観光支援策としてイベントの開催等も検討すべき。

答 公園再整備は、今後も都に要望していく。浮間さくら草まつりは、非常に貴重な行事と考え、今後も保存会の活動等を支援していく。

問 待機児解消や選択しやすい保育サービス提供のため、家庭福祉員を計画的に拡充すべきと考える。

答 保育園待機児解消は、区の最優先課題。家庭福祉員増員を含め効果的な方策を検討・実施していく。

憲法九条を守り、核兵器廃絶を 都区の住宅政策改善を



日本共産党
北区議員団
木元 良八

問 今期も議員二十五名で「北区議会・憲法九条を守る会」を結成した。九条を守る区長の決意を問う。

答 昭和六十一年に、憲法の恒久平和の理念に基づく平和都市宣言を行った。これからも戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継いでいく。

問 増え続ける入居希望者のため、ストップした都営住宅の新規建設を再開するよう都に働きかけよ。

答 都では、既存ストックを有効利用しつつ、入居機会の拡大を図るとしている。高齢者や障害者等に配慮した民間賃貸住宅の供給促進を掲げており、事業状況を見守る。

問 都営住宅の使用承継制度の変更を取りやめるよう都に求めよ。

答 制度変更後も、三親等以内で、六十歳以上の高齢者や程度の重い障害者、病弱者には使用承継を認める特例を設け、配慮している。

問 公契約条例の制定を
N-TT東日本宅跡地の利活用

答 検討中の公契約条例に、適正な賃金の確保、下請け保護、地元企業育成、談合防止等を盛り込むべき。制定に向けての課題を問う。

問 他自治体等の検討状況を研究してきた。契約時における指導のあり方等の改善も含め庁内検討会

答 において、今後も研究していく。滝野川六丁目N-TT東日本宅跡地について、区の実質的整備が実現できるような利活用を働きかけよ。

問 不足している駐輪場等として一部利用を申し込んでいる。今後も、地域の要望を伝えていくとともに、居住環境整備指導要綱等により、適切な指導をしていく。

問 東京大気汚染公害訴訟の和解内容を、どのように評価するのか。

答 全当事者の合意で解決したもので関係者の努力に敬意を表したい。

問 コミバス運行の波及効果を問う
個人情報と自治会活動について

答 公共交通導入の目的は、人を呼び込み賑わい拠点を創出するものとする。コミュニティバス運行の波及効果と今後の取組みを問う。

問 個人情報保護法の誤解で自治会等の名簿作成の中止等、地域に疑心が生まれている。人間関係を基礎に長期的な信頼構築の施策を。

答 都と連携して誤解解消に努め、町会・自治会運営マニュアル作成の中で法の趣旨の掲載を検討する。

問 公園行政にPDC Aサイクルを活用し、地域性ある改善を求める。

答 醸造試験所跡地公園をモデルにPDC Aを活用した公園利用を議論する場を設置した。今後も安全安心に利用できる公園を目指す。

問 公共交通安全の目的は、人を呼び込み賑わい拠点を創出するものとする。コミュニティバス運行の波及効果と今後の取組みを問う。

答 区外からも多くの人が来て新たな交流を生む点から、賑わい創出等を期待する。今後、地域や商店街と活性化への取組みを検討する。

問 個人情報保護法の誤解で自治会等の名簿作成の中止等、地域に疑心が生まれている。人間関係を基礎に長期的な信頼構築の施策を。

答 都と連携して誤解解消に努め、町会・自治会運営マニュアル作成の中で法の趣旨の掲載を検討する。

問 公園行政にPDC Aサイクルを活用し、地域性ある改善を求める。

答 醸造試験所跡地公園をモデルにPDC Aを活用した公園利用を議論する場を設置した。今後も安全安心に利用できる公園を目指す。

問 公共交通安全の目的は、人を呼び込み賑わい拠点を創出するものとする。コミュニティバス運行の波及効果と今後の取組みを問う。

答 区外からも多くの人が来て新たな交流を生む点から、賑わい創出等を期待する。今後、地域や商店街と活性化への取組みを検討する。

問 個人情報保護法の誤解で自治会等の名簿作成の中止等、地域に疑心が生まれている。人間関係を基礎に長期的な信頼構築の施策を。

答 都と連携して誤解解消に努め、町会・自治会運営マニュアル作成の中で法の趣旨の掲載を検討する。

問 公園行政にPDC Aサイクルを活用し、地域性ある改善を求める。

答 醸造試験所跡地公園をモデルにPDC Aを活用した公園利用を議論する場を設置した。今後も安全安心に利用できる公園を目指す。

問 公共交通安全の目的は、人を呼び込み賑わい拠点を創出するものとする。コミュニティバス運行の波及効果と今後の取組みを問う。

答 区外からも多くの人が来て新たな交流を生む点から、賑わい創出等を期待する。今後、地域や商店街と活性化への取組みを検討する。

21日

企画総務委員会
○委員会
・議案審査
政治倫理の確立のための東京都北区長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例ほか
・陳情審査
N-TT宅跡地利用に関する件

25日

議会運営委員会
○委員会
・本会議の運営について
本会議
○議案の議決
地域開発特別委員会
○委員会
・陳情審査
志茂三丁目日本化学株式会社
会社研究所跡地取得に関する件

26日

決算特別委員会
○委員会
・総括質疑、議会議費
・総務費、公債費、諸支出金
予備費

27日

決算特別委員会
○委員会
・説明会
交通環境対策特別委員会
○説明会
・堀船二丁目環境調査報告 検証
音・低周波音 ほか

28日

○委員会
・説明会のまとめ

1日

決算特別委員会
○委員会
・福祉費、衛生費

2日

決算特別委員会
○委員会
・環境費、産業経済費、土木費

4日

決算特別委員会
○委員会
・教育費

10月

区長提出の議案等

「決算の認定」

- 平成十八年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）
- 平成十八年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）

- 平成十八年度東京都北区用地特別会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）
- 平成十八年度東京都北区中小企業従業員退職金等共済事業会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）

- 平成十八年度東京都北区老人保健会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）
- 平成十八年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数）

- 政治倫理の確立のための東京都北区長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区情報公開条例の一部を改正する条例（賛成多数）

- 東京都北区個人情報保護条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区議会、選挙管理委員会又は監査委員の求めにより出頭する者及び公聴会に参加する者の費用弁償条例の一部を改正する条例（賛成多数）

- 東京都北区ブルーに関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区立十条台小学校温水プール使用条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区エコー広場館条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
- 東京都北区児童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

「和解」

- 土地の売却に関する和解について（賛成多数）
- 土地の取得に関する和解について（賛成多数）

「契約」

- 王子小学校及び王子桜中学校新築電気設備工事請負契約（賛成多数）
- 王子小学校及び王子桜中学校新築給排水衛生設備工事請負契約（賛成多数）
- 王子小学校及び王子桜中学校新築空調設備工事請負契約（賛成多数）
- 西浮間小学校新築電気設備工事請負契約（賛成多数）

「定款の変更」

- 北区土地開発公社定款の一部変更について（賛成多数）
- 区道の認定・廃止・変更
- 特別区道の路線認定、路線廃止、路線一部廃止及び路線変更について（賛成多数）

「指定管理者の指定」

- 東京都北区立王子福祉作業所の指定管理者の指定について（賛成多数）
- 東京都北区立赤羽西五丁目児童館の指定管理者の指定について（賛成多数）

「予算」

- 平成十九年度東京都北区一般会計補正予算（第一号）（賛成多数）
- 平成十九年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算（第一号）（賛成多数）
- 平成十九年度東京都北区介護保険会計補正予算（第一号）（賛成多数）

○割賦販売法の抜本的改正を求める意見書（賛成多数）

議員提出の議案

○義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書（賛成多数）

○原爆症認定基準の抜本的改善を早期に求める意見書（賛成多数）

○中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書（賛成多数）

○高齢者の税負担軽減に関する意見書（賛成多数）

○障害者自立支援法の改正に関する意見書（賛成多数）

○いじめ・不登校対策のための施策を求める意見書（賛成多数）

○都営住宅等の新たな整備推進計画の策定を求める意見書（賛成多数）

○都市再生機構の整理・合理化に関する意見書（賛成多数）

○第三十回オリンピック競技大会並びにパリンピック競技大会の東京招致に関する決議（賛成多数）

結果の出た 請願・陳情

採択されたもの
○割賦販売法の抜本的改正を求める意見書提出に関する件 請19・4
○緊急一時保護の部屋 新設と「入

不採択となったもの
○人間ドックに関する件 陳19・9
○「廃プラスチックの収集・焼却」に関する件 陳19・13

△は、採択された陳情に付された意見

態度の分かれた案件

案件名	議員名（ ）内は議員数										
	自由民主党議員団※(11)	公明党議員団(10)	日本共産党北区議員団(9)	民主区民クラブ(7)	あすか新生議員団(4)	新社会党議員団(1)	北区・区民クラブ(1)	ほくと声(1)	議決結果	結果	結果
東京都北区副区長選任の同意について	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	同意
平成18年度東京都北区一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成18年度東京都北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成18年度東京都北区老人保健会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成18年度東京都北区介護保険会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
東京都北区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
王子小学校及び王子桜中学校新築電気設備工事請負契約	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	可決
王子小学校及び王子桜中学校新築給排水衛生設備工事請負契約	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	可決
王子小学校及び王子桜中学校新築空調設備工事請負契約	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	可決
西浮間小学校新築電気設備工事請負契約	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立王子福祉作業所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	可決
東京都北区立赤羽西五丁目児童館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
平成19年度東京都北区一般会計補正予算（第1号）	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
平成19年度東京都北区介護保険会計補正予算（第1号）	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
高齢者の税負担軽減に関する意見書	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
障害者自立支援法の改正に関する意見書	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第31回オリンピック競技大会並びにパリンピック競技大会の東京招致に関する決議	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決

※採決時は、議長（自由民主党議員団）を除きます。 ○賛成 ×反対 ▲退場

平成十九年第二回臨時会を開きました

平成十九年第二回臨時会は、八月八日に招集されました。区長から提出された議案等二件を議決し、同日閉会しました。

「区長提出の議案等」
○西浮間小学校新築工事請負契約（賛成多数）
○東京都北区副区長選任の同意について（山田統二氏）（賛成多数）

○重度身体障害者の入所施設・ショートステイ事業に関する件（第三項） 陳19・16
○後期高齢者医療制度の抜本的改善を求める件 陳19・21
○消費税の増税に反対する意見書提出に関する件 陳19・22
○北清掃工場での混合焼却の再検討を求める件 陳19・23

※理由は願意に沿い難いため
◎なお、その他の陳情は継続審査となりました。

24日	23日	22日	19日	18日	17日	12日	11日	9日	5日
文教委員会 ○視察（24日～25日） ・多治見市、呉市	建設委員会 ○視察（23日～24日） ・名古屋市、岐阜市	健康福祉委員会 ○委員会 ・陳情審査 保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書提出に関する件 ・東十条病院の全診療科目の休診に関する対応について	建設委員会 ○視察 ・コミュニティバスモデル運行地域	企画総務委員会 ○視察（18日～19日） ・倉敷市、八尾市	防災対策特別委員会 ○視察 ・東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊	本会議 ○議案の議決ほか 議会運営委員会 ○委員会 ・第四回定例会の日程についてほか	議会運営委員会 ○委員会 ・本会議の運営についてほか	決算特別委員会 ○委員会 ・補正質疑、討論、採決	決算特別委員会 ○委員会 ・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出

平成十八年度決算を認定しました

平成十九年第三回定例会において、平成十八年度決算を審査する特別委員会を開会し、各党派が決算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

なお、決算に対する態度の分かれたものについては、前頁の「態度の分かれた案件」をご覧ください。

自由民主党議員団

平成十八年度は、景気の回復が財政に影響を与えてきた年である。国は、構造改革に一応の目処を定めると同時に、改革を続行し、小さくて効率的な政府の実現に向けて、三位一体改革を進めてきた。そのような状況の中、区が目標と掲げている基本計画、中期計画を着実に推進する努力は、評価する。

「区民とともに」を基調に、「子ども」・かがやき戦略、「元氣」・いきいき戦略、「花*みどり」・やすらぎ戦略、「安全・安心」・快適戦略の四つの重点戦略を中心に、施策が展開され、区民福祉の推進が図られていると判断する。

しかし、都区財政調整協議では、依然問題の根本解決に至っておらず、今後も、区長を先頭に関係部署の努力に期待する。

「子ども」・かがやき戦略の主な事業実績では、子ども医療費助成制度を通院まで拡充、私立保育所整備費助成、病後児保育、子ども夜間救急事業等の前進が図られた。教育分野では、学校改築、普通教室の冷房化等の環境整備、学力パワーアップ事業の拡充等は評価する。

他の事業では、産業活性化ビジョンの策定、駅周辺バリアフリー化、特別養護老人ホームの整備、障害者就労支援の充実、小学校や保育園の門扉・玄関のオートロック化、環境問題では赤羽エコー広場館の推進、また北区の最大の懸案事項の一つである十条西口市街地再開発の推進が

図られてきたことは評価できる。

これからの北区に必要なリサイクルのあり方の検討、学校教育では教師を含めた全体の改善、介護保険制度の取組み方、更なる子育て支援の充実、駐輪対策を含めた新たなまちづくり、税の公平負担の原則と配分を今後も堅持していくこと、未来を担う子ども達への施策は知恵を出し合い推進すること等、要望する。

以上により、一般会計及び五特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

公明党議員団

平成十八年度は花川区長が就任して四年目にあたり、基本計画2005及び中期計画をふまえた四つの重点戦略を中心に、区民の目線に立った効率的な資源配分となった。

教育では、教育先進都市を目指した学力パワーアップ事業の対象拡大や普通教室の冷房化の取組み、子育て支援では、子ども医療費助成事業の通院までの助成対象拡充と小児初期救急診療体制の整備、健康づくりでは、マンモグラフィによる乳がん検診体制の充実、高齢者福祉では、特別養護老人ホームの整備促進、障害者福祉では、知的障害者グループホームの整備促進等、まちづくりでは、都市計画袋町公園等の整備、安全・安心への取組みでは、学校・保育園の耐震改修工事への着手等、介護保険会計では地域包括支援センターの三方所設置等、積極的に幅広く取組んだ点を高く評価する。

なお、本委員会で要望した以下の点について、改めて実現を求める。

歳出では、住民起点の発想でサイレントマジORITYのニーズを把握すること、中央図書館における区民との協働・情報公開の推進とバリアフリー化を図ること、自治体の危機管理はガバナンス改革とコンプライアンス改革を図ること、健康診査及び各種がん検診の拡充を図ること、観光振興策とイメージアップ戦略の推進を図ること、家具転倒防止の再度拡充と緊急地震速報に対する新たな防災体制の構築等を徹底すること。歳入では、更に徴収率向上のため、徴収業務の一元化を図ること。

以上により、一般会計及び五特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

日本共産党北区議員団

子ども医療費や妊婦健診の拡充、非常勤講師の中学校全校配置、環境基本条例等の制定は評価するが、次の七点を指摘する。

第一に、清潔な区政運営が求められるにもかかわらず、区長交際費の不明朗さ、不透明な契約問題が続いていることである。第二に、負担増に苦しむ区民への具体的な対策が講じられなかったことである。第三に、公的責任を後退させる外部化、指定管理者制度を進め、子育て支援の場に営利を追求する株式会社への参入を許したことである。第四に、民間任せの住宅対策で、都営住宅増設を求めないことや民間住宅への支援を行わない姿勢である。第五に、三十人学級を求める多数の声に応えないことである。第六に、国民保護法を無批判に受け入れる態度である。第七に、歪められた「都区制度改革」に屈服し、追従する姿勢である。

また、国保会計は低所得者直撃の保険料均等割の値上げをしたことから、介護保険会計は北区独自基準の認定ランク下げで介護保険事業計画と大きく乖離した給付であることから、老人保健会計は国の制度改革を容認していることから認められない。以上により、一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健会計及び介護保険会計決算の認定に反対、他の二特別会計決算の認定には賛成する。

民主区民クラブ

参議院選挙では民主党等が過半数の議席を確保し、参議院議長が野党から初めて誕生した。地方議会の立場からは、大企業の利益を優先するのではなく、格差の是正である。中小零細企業の従業員等や、健康保険料等を払えない方、生活保護受給者等を国と地方自治体のセーフティネットを支えるべきである。

商店街の空き店舗利用でまちの活性化を図ることも大切である。

指定管理者では、区民要望に対応できない博物館等の施設と、可能な施設を改めて見直しをすべきである。医療では、田端中央病院の閉鎖、東十条病院の休診等が問題である。

介護保険制度では、ヘルパー等の資格を持ちながら福祉現場を退職せざるを得ない現実や、認定審査が問題である。また、教師の精神疾患が多発している。高齢者医療負担増に対する課題等、診療抑制にならないよう対策を強化すべきである。

可能な限りの緑化と太陽エネルギー利用等温暖化対策の推進、十条まちづくりの推進や公正な入札制度の改革も改めて求める。二十三区の再編については、二十三区が主体的に検討すべきものである。区長会等は東京都に対し、強い姿勢を持つことを要望する。

あすか新生議員団

四つの重点戦略に予算を重点配付し、効果を上げようとしたことは評価できる。特にファミリー世帯の増

加が期待できる子ども医療費助成制度の拡充、区民に大いなる安心感を与える子ども夜間救急事業の開始、教育先進都市を推進するための事業展開や環境整備、北区のイメージアップにも寄与する北とびあ国際音楽祭の再開等を高く評価する。

また、他自治体からも評価される入札・契約制度の確立、東十条病院の存続、区のイメージを左右する駅前放置自転車等の取組み、収納率の向上・各種債権の回収、北区の教育力向上のための教職員の増員・教員養成等に更なる尽力を求める。

以上により、一般会計及び五特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

新社会党議員団

子ども医療費助成の拡大等評価できる。しかし、指定管理者制度等を推進する区の姿勢は大きな問題である。格差拡大の中、低所得者層への区の姿勢は消極的であり、区民福祉の立場で国や都に毅然とした対応を強く求める。高齢者医療は高齢者の立場で全力をあげることを要望する。

介護保険会計は厳しい介護認定により反対する。一般会計及び他の四特別会計決算の認定には賛成する。

北区・区民クラブ

決算特別委員会委員でないため、決算に対する意見表明はしていないが、一般会計決算及び五特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

ほくと声

決算特別委員会委員でないため、決算に対する意見表明はしていないが、一般会計決算及び五特別会計決算の認定にいずれも賛成する。

決算特別委員会委員 (22名)	
◎小池たくみ	○青木 博子
池田 博一	宇野 等
大島 実	太田奈保子
大畑 修	金子 章
黒田みち子	近藤 光則
相楽 淑子	佐藤 有恒
鈴木 隆司	土屋 敏
椿 くにじ	野々山 研
平田 雅夫	福田 実
本田 正則	八百川 孝
山崎 満	山中 邦彦
◎委員長	○副委員長

次回定例会のお知らせ

平成十九年第四回定例会は、十一月二十七日から十二月七日までの十一日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前十時開会予定です。

11月27日(火)	本会議
28日(水)	(本会議)
30日(金)	区民生活委員会 文教委員会
12月3日(月)	健康福祉委員会 建設委員会
4日(火)	企画総務委員会 議会運営委員会
6日(木)	本会議
7日(金)	本会議

●議会放映を北ケーブルテレビでぜひご覧ください
第4回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録画放映します。

放映予定日時	12月2日(日)
	午前10時～5時間程度
	12月3日(月)～7日(金)
	午後10時15分～1時間程度(再放送)

区議会だより編集委員会
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
☎(3908)9949
FAX(3908)0600
http://www.city.kita-kyo.jp/
「北区議会」からご覧になれますのでご利用ください。